

オリンポス山 ミティカス・ピーク (2917m)

ギリシャはバルカン半島南部に位置しており西洋哲学、近代オリンピック、ギリシャ正教などで知られているが、オリンポスの山々はアルペン的な景観を持っている。今回はバルカン半島の国々の山に登ることを計画した。オリンポス山が最初の山である。

登山口のプリオニアの駐車場は満杯で路上に車が溢れていた。この日は日曜日のためか登山者が多い。こちらでも路上駐車になった。登山口からゆっくりと3~4時間程登ったところに、レフュージ A(2100m)という山小屋があるが、小屋の予約が取れなかったのでツェルトを担いで行くことになった。標高差 1000m とはいえ消耗した。食事時に激しい夕立があったので、惨めにもツェルトは濡れてしまった。

テント泊では火の使用は禁止されているので食事は各自好きなものをレストランで取ることになる。のどの渇きもあって蜂蜜入り紅茶を 3 杯も飲んだ。

翌日、天気は回復したが、ガスがかかる天気であったので展望は望めなかった。残念である。下山後は小屋に泊まったが 2 人部屋の個室が与えられており快適であった。予約制で登山協会会員は 11 ユーロ、非会員は 13EUR であった。宿泊費は出発前に日本から振り込んだ。

ルートは E4 の標識に従えば迷うことはなかった。ミティカス・ピークへ向かうときも E4 の標識を忠実に辿る。スコリオス・ピークへ向かうルートが途中から分かれるので右寄りに辿り、ミティカス・ピークへの下降点に出た。ここから岩登りのバリエーション。一応、ヘルメットとスリングロープを用意した。岩場には明瞭にマークがあるので安心できるが落石には要注意。ガスのためピークがはっきりしなかったが、後から登ってきた 3 人組のロシア人と共にピークへ登った。展望がなかったのが残念であった。

6月16日 プリオニア(駐車場)~レフュージ A(2100m)



プリオニア



レフュージ A



ツェルトは惨めでした



翌日、小屋はガラガラで快適でした